

芦屋市 障がい福祉に関するアンケート調査への ご協力をお願い

皆様には日ごろから障がい福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

今回、障がいのある人のより良い暮らしのため、アンケート調査を実施します。市民の皆様は障がい福祉に関する意識、意向などを把握し、「(仮称)芦屋市障がい者(児)福祉計画第8次中期計画および芦屋市第8期障がい福祉計画・芦屋市第4期障がい児福祉計画」の策定や施策の推進に役立てていきたいと考えています。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

なお、この調査の対象者は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方または障害児通所支援事業所をご利用の方から無作為に(くじ引きのような方法で)選ばせていただきました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は、すべて統計的な処理を行い、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用いたします。個別の回答内容を公表することや別の目的で回答内容を使うことは一切ありませんことを申し添えておきます。

令和7年●月 芦屋市

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

芦屋市 こども福祉部 福祉室 障がい福祉課
電 話 0797-38-2043(直通) FAX 0797-38-2160
メールアドレス:syougaifukushi@city.ashiya.lg.jp

芦屋市 こども福祉部 こども家庭室 こども政策課
電 話 0797-38-2045(直通)
メールアドレス:kodomo@city.ashiya.lg.jp

※今回の調査は、株式会社日本都市計画研究所に事務などを委託しています。

(ウラに「回答・ご提出のお願い」を書いていますので見てください)



回答・ご提出のお願い

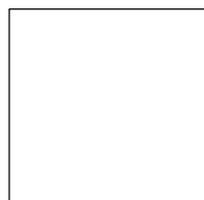
- ◆この調査票は、障がいのある18歳未満のお子さんに関する内容をおたずねするものです。
- ◆保護者の方にご記入いただきますが、可能な範囲でお子さんの思いや意見を聞きながらご回答ください。
- ◆「インターネット」か「紙」か、どちらかで答えてください。

■ 「紙」(この封筒に入っている調査票)で答える

- ✓ あなたの名前を書かなくて構いません。
- ✓ 質問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ✓ 記入欄には、具体的にその内容を書いてください。
- ✓ 答えたくないことには無理に答えなくてもかまいません。
- ✓ この封筒に入っている「返信用の封筒」で送ってください。

■ 「インターネット」で答える

- ✓ 右の二次元コードを読み取ってください。
回答用のページにつながります。



- ✓ 二次元コードが読み取れない場合は、以下のURLを入力してください。回答用のページにつながります。

URL : <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/kameokakenko/ipnk/>

- ✓ 回答用のページにつながったら、最初に、このIDとパスワードを入力してください。

貼り付け箇所

- ※インターネットが使えるスマートフォン・PC・タブレットなどからアクセスできます。
- ※アクセスは無料ですが、パケット通信料が別途かかりますのでご注意ください。
- ※通信環境の良いところでご回答ください。

- ◆回答で困ったことがあれば、オモテ面の連絡先(芦屋市 障がい福祉課)までご連絡ください。
- ◆IDは無作為に(くじ引きのような方法で)決めています。IDはインターネットと紙での回答のどちらか一方になっているかを確認するためのものです。IDではあなたが誰かはわかりません。

令和7年●月●日(●)までに、アンケートに回答してください。

芦屋市 障がい福祉に関するアンケート調査

※これ以降、この調査票が送られた宛名の方を「お子さん」と呼びますので、お子さん(この調査票の対象者)の状況などについて、お答えください。

1. お子さんご自身のことについて

問1 お子さんの性別を書いてください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 3. その他 | 4. 答えたくない |

問2 現在のお子さんの年齢を書いてください。(数字を記入)

満(まん) 歳(さい) ※令和7年●月●日現在

問3 お子さんが持っている「障がい者手帳」についてお答えください。

① お子さんは、身体障害者手帳を持っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 |
| 4. 4級 | 5. 5級 | 6. 6級 |
| 7. 持っていない | | |

② 身体障害者手帳を持っている場合、障がいの内容をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 視覚障がい | 2. 聴覚障がい、平衡機能障がい |
| 3. 音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい | 4. 肢体不自由 |
| 5. 内部障がい(1~4以外の障がい) | |

③ お子さんは療育手帳を持っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. A(重度) | 2. B1(中度) | 3. B2(軽度) |
| 4. 持っていない | | |

2. お子さんの現在の生活のことについて

問 8

お子さんが、今現在生活している場所はどこですか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 家族と一緒に生活

問 9 へ

2. 共同生活できる施設で生活

問 10 へ

3. その他 ()

問 9

お子さんが以下のことをするとき、どなたの支援を受けていますか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

	自分でできる	家族や親戚	ホームヘルパー	ボランティア	近所の人 友だち・知り合い・	施設の職員
(例) 食事をするとき	1	2	3	4	5	6
① 食事をするとき (料理、配膳、片づけなどは含みません)	1	2	3	4	5	6
② 薬を飲んだり保管するとき	1	2	3	4	5	6
③ お風呂に入る・トイレを使うとき	1	2	3	4	5	6
④ 着替えをするとき	1	2	3	4	5	6
⑤ 料理・掃除・洗濯をするとき	1	2	3	4	5	6
⑥ 外に出るとき (通学、通院や買い物など)	1	2	3	4	5	6
⑦ 自分の考えを伝えたいとき	1	2	3	4	5	6
⑧ 生活費など、お金の管理をするとき	1	2	3	4	5	6
⑨ 日常の暮らしに必要な手続きをするとき	1	2	3	4	5	6
⑩ 地震や台風など、緊急時に避難・連絡したいとき	1	2	3	4	5	6

問 13

お子さんが外出するときに、困ったり、心配になったりすることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. バスや鉄道などが利用しにくい(路線がない、バスの便が少ない、乗降が難しいなど)
2. バスや鉄道などの乗り方の表示や建物への案内表示がわかりにくい
3. 交通費などの費用負担が大きい
4. 障がいのある人用の駐車場がない、または少ない
5. 歩道に問題が多い(せまい、障がい物が多い、誘導ブロックがないなど)
6. 建物の設備が利用しにくい(階段、トイレなど)
7. 休憩できる場所が少ない(身近な公園や歩道のベンチなど)
8. 介助者の支援がないと外出できない(介助者を頼むと利用料を負担しなければならない)
9. 介助者やヘルパーの確保が難しい(いつでも必要なときに頼むことが出来ない)
10. 周りの人の目が気になる
11. 発作など突然の身体の変化が心配
12. 困った時にどうすればいいのか、誰に聞いたらいいのかわからないので心配
13. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとったりすることが難しい
14. その他()
15. 特にない
16. 外出したいと思わない

3. 教育・保育や通所支援などについて

問 14 現在、お子さんが在籍している学校などはどれですか。(○は1つだけ)

1. 幼稚園、保育所、認定こども園
2. 小学校（義務教育学校前期課程を含む）
3. 中学校（義務教育学校後期課程を含む）
4. 高等学校（全日制・定時制）
5. 特別支援学校
6. 専修学校
7. その他（ ）
8. 定期的な教育・保育を利用していない（在宅）

問 15 現在在籍している学校など（在宅含む）の次の進路（進学や就職、その他）について、どのようなことを望まれますか。(○は1つだけ)

1. 幼稚園、保育所、認定こども園への通園
2. 小中学校（通常学級）へ進学
3. 小中学校（特別支援学級）へ進学
4. 高等学校へ進学
5. 特別支援学校（小・中・高等部）へ進学
6. 専門学校へ進学
7. 大学・短期大学へ進学
8. 一般企業・事業所への就職
9. 共同生活できる施設へ入所する
10. 在宅で過ごす
11. その他（ ）
12. わからない

問 16 「障がい児通所支援」を利用していますか。(○は1つだけ)

※サービスの内容がよくわからない時は、別紙にサービスの説明を書いていますので、そちらも見てください（別紙参照）。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 児童発達支援（※） | → 問 17 へ |
| 2. 放課後等デイサービス（※） | |
| 3. 医療型児童発達支援（※） | → 問 20 へ |
| 4. 居宅型児童発達支援（※） | |
| 5. 利用していない | → 問 19 へ |

問 17 問 17 で 1、2 のいずれかを選んだ方にお聞きします。主に利用している児童発達支援や放課後等デイサービスは楽しいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|------------|---------------------|
| 1. 楽しい | 2. まあまあ楽しい | → 問 20 へ |
| 3. あまり楽しくない | 4. 楽しくない | → 問 18 に答えた後、問 20 へ |

問 21

お子さんの保育や教育について今後、特にどのようなことが必要だと思いますか。現在通われていない方は、これまでのご経験からお答えください。(○は1つだけ)

1. インクルーシブ教育・保育（※）の充実
2. 周囲の児童・生徒、保護者の障がいへの理解
3. 教員などの指導力の向上や障がいへの理解
4. 障がいのある児童・生徒の個々の状況に合わせた指導内容やカリキュラム
5. 障がいのある児童・生徒に配慮した学校設備などの充実
6. 通園、通学への配慮（送迎など）
7. 進路指導や職業教育の充実（自立して働ける力の育成）
8. 療育機関や支援学校（学級）に関する情報の提供
9. 保育・教育・福祉の各機関の連携
10. 障がい児通所支援サービス（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）の充実
11. 障がい児入所支援サービスの充実
12. 必要なときに一時的に利用できる日中一時支援事業の充実
13. コミュニケーション力や身辺処理面など日常生活スキルの向上支援
14. 学校以外での学習に対する支援
15. 療育を行う施設の増設
16. 休日などに活動できる仲間や施設
17. 放課後や長期休暇中に利用できるサービスの充実
18. その他（）
19. 特に必要ない
20. わからない

※インクルーシブ教育・保育…障がいの有無にかかわらず、誰もが望めば自分に合った配慮を受けながら、みんなと一緒に学ぶことができること。

問 24 医療に関係することで、困っていることはありますか。(○は1つだけ)

1. 通院・入退院するときに手助けしてくれる人がいない
2. 専門的な治療を行う病院が身近にない
3. 専門的なりハビリを受けられる施設が身近にない
4. ちょっとした病気やけがのときに診てくれる病院が身近にない
5. 障がいが理由で治療を受けにくい診療科がある(例: 歯科・整形外科など)
6. 往診を頼める医師がいない
7. 通院の負担が大きい(交通費など)
8. 医療費の負担が大きい
9. 医師、看護師とのコミュニケーションがとりにくい
10. 障がいの特性などを医師、看護師に理解してもらうことがむずかしい
11. その他()
12. 特に困っていない

5. 生活の不安、相談などについて

問 25 お子さんや保護者の方が、現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 緊急時に相談できる窓口がない
2. 生活を支援してくれる人がいない
3. 一緒に暮らす人がいない
4. 働くところがない
5. お金が足りない
6. 趣味や生きがいが見つけれない
7. 生活をするうえで必要な情報が得られない
8. お子さんの健康が不安
9. 家族など介護者の健康が不安
10. 一緒に暮らしている家族との関係
11. 必要な時に診てくれる病院がない
12. 将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安
13. 生活に必要な福祉サービスなどが利用できない
14. その他()
15. 特に困っていることはない

問 26 悩みや困ったことを相談するのはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友だち・知り合い・近所の人 |
| 3. 同じ障がいや病気のある人 | 4. 保育所・幼稚園・認定こども園・学校 |
| 5. 職場 | 6. 病院・診療所（医療相談） |
| 7. サービスを利用しているところ
（施設、事業所） | 8. ホームヘルパー |
| 9. 障がい者相談支援事業（福祉センター1階） | 10. サービス等利用計画書を作成する相談支援専門員 |
| 11. 市役所 | 12. 社会福祉協議会 |
| 13. 健康福祉事務所や保健センター | 14. 民生委員児童委員・福祉推進委員 |
| 15. 障がい者相談員（※） | 16. 障がい者団体 |
| 17. その他（ | 18. 相談する人はいない |

※障がい者相談員…障がいのある人やその家族における問題について、地域での相談・助言・指導などを行っている相談員のこと。

問 27 お子さんは、連絡や相談、情報を得るときや周囲の人とのコミュニケーションのために、どのような方法をよく用いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 電話（自宅などの固定電話） | 2. 携帯電話・スマートフォン |
| 3. 手話 | 4. 筆談 |
| 5. ファックス | 6. 要約筆記 |
| 7. 点字 | 8. 音訳 |
| 9. ジェスチャー（身ぶり・手ぶり） | 10. イラストや記号などを使った意思疎通 |
| 11. パソコンやスマートフォンなどのインターネット機能（メール、メッセージアプリ、SNS、情報検索など） | |
| 12. コミュニケーション支援者（代弁者）に頼む | |
| 13. その他（ | ） |

	現在の利用		今後3年以内の利用予定			
	利用している	利用していない	用をはじめたい （利 用を はじ めたい）	今よりも利用を増やしたい （利 用を はじ めたい）	今と同じくらい利用したい	今よりも利用を減らしたい
⑩ 医療型児童発達支援	1	2	1	2	3	4
⑪ 計画相談支援・障害児相談支援	1	2	1	2	3	4
⑫ 意思疎通支援事業	1	2	1	2	3	4
⑬ 地域活動支援センター	1	2	1	2	3	4
⑭ 移動支援事業	1	2	1	2	3	4
⑮ 日中一時支援事業	1	2	1	2	3	4

問 32

芦屋市にある以下の窓口や機関、事業などについて知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 障がい者相談支援事業（福祉センター1階）
2. 障がい者相談員（※）の相談
3. 権利擁護支援センター・障がい者虐待防止センター（福祉センター1階）
4. 障がい児機能訓練事業（福祉センター1階）
5. 障がい者・障がい児水浴訓練室開放事業（福祉センター1階）
6. 障がい者歯科診療（福祉センター1階 歯科センター）
7. 特別支援教育センター（福祉センター3階）
8. サポートファイル
9. 芦屋市障がい福祉ポータルサイト「あしやねっと♪」
10. まるっと説明会
11. 芦屋市みんなにやさしいお店
12. どれも知らない

※障がい者相談員…障がいのある人やその家族における問題について、地域での相談・助言・指導などを行っている

る相談員のこと。

7. 災害時や緊急時の対応について

問 33

災害時や緊急時に避難する際、お子さんを手助けしてくれる人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族
2. 近所の人
3. 友人・知人
4. 自治会の人
5. 民生委員・児童委員
6. その他 ()
7. 手助けしてくれる人はいない

問 34

阪神・淡路大震災から 30 年が経過し、南海トラフ巨大地震が発生するといわれていますが、災害が起こった場合、どのようなことを不安に感じますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身体の動きに制限があり、自力で安全を確保することが難しい
2. 支援してくれる人や介助者がいない
3. どこに避難（または安全を確保）すればよいかわからない
4. 自分で判断して行動することが難しい
5. 災害時に混乱したり、パニックを起こしてしまう
6. 周囲とコミュニケーションをとることができない
7. 災害に関する情報が入手できない
8. どこ（またはだれ）に助けを求めてよいかわからない
9. 避難所などでの集団生活や設備（トイレなど）が不安
10. 医療ケア（投薬や治療）が受けられないことが心配
11. 周囲に障がいへの理解があるか不安
12. その他 ()
13. 特にない

問 39 地域や周囲の人の「障がい」や「障がいのある人」への理解を深め、差別や偏見をなくすためには、何が必要だと思いますか。(もっともあてはまるもの3つまでに○)

1. 広報紙やホームページでの啓発
2. 地域での講演会や学習会の開催
3. 学校や職場での障がい理解に関する教育
4. 障がいのある人とない人の交流の場
5. 福祉施設を地域住民が見学すること
6. 福祉ボランティアの育成
7. 外出支援や就労支援など、障がいのある人の社会参加の促進
8. スポーツや文化、サークル活動など、障がいのある人の活動のPR
9. 施設などのバリアフリー化を進めること
10. その他 ()

問 40 「障害者虐待防止法」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. まったく知らない

※障害者虐待防止法は、障がいのある人に対する虐待の禁止、障がいのある人が虐待を受けた際の保護及び自立の支援のための措置、養護者に対する支援のための措置等を定めることにより、障がいのある人の権利利益を守ることを目的とした法律です。

問 41 虐待を受けたり、受けている人を見つけた際の相談・通報先を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

問 42 「成年後見制度」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. まったく知らない

※成年後見制度は、病気や障がいによって判断能力が不十分な方が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立ててその方を援助してくれる人を選任してもらう制度です。

9. 地域社会とのかかわりについて

問 43 お子さんは、地域の行事や活動に参加していますか。(○は1つだけ)

1. よく参加する
2. どちらかと言えば参加する
3. どちらかと言えば参加しない
4. 参加しない

問 44 障がいのある人に対する地域の理解は進んできたと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. かなり進んできた | 2. まあまあ進んできた |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり進んでいると思わない |
| 5. 進んでいない | 6. わからない |

問 45 お子さんが自宅・地域で生活する（または、生活したいと思う）ためには、どのような条件が必要だと思いますか。(もっともあてはまるもの5つまでに○)

1. 生活に必要な支援やサービスをまとめて相談・利用できる窓口があること
2. 医療・介護・福祉の関係機関が連携して支えてくれること
3. 必要なときに介助や見守りを頼める人がいること
4. 緊急時（体調悪化・災害時など）に助けを求められる仕組みがあること
5. 安心して住み続けられる家があること
6. 近所の人や地域の人に見守られ、声をかけ合える関係があること
7. 地域に居場所や交流の場（サロン・地域活動など）があること
8. ボランティアや地域の活動に参加できる機会があること
9. 障がいのある人への理解が地域に広がっていること
10. 外出や移動がしやすい環境（交通手段・バリアフリーなど）が整っていること
11. 就労や社会参加の機会があること
12. 経済的に安定した生活ができること
13. 自分の意見や希望を伝え、尊重してもらえること
14. 家族や信頼できる人と安心して関係を保てること
15. その他（)
16. わからない

問 46 地域の中では、住民同士の交流を深める活動をはじめ、様々な地域活動が行われています。地域活動に参加するために何が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通所施設で地域活動が行われるなど、普段利用している場所で住民との交流機会があること
2. 施設や地域のイベントで地域の人と交流し顔見知りになること
3. 地域で気軽に利用できる趣味の場（絵などの作品を制作できる場・スポーツができる場など）があること
4. 一緒に活動してくれる人がいること
5. 参加しやすい時間帯に活動が行われていること
6. 休日にも利用でき、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあること
7. 地域の余暇活動の情報を手軽に知ることができること
8. 自分の関心や得意なことを活かせる内容であること
9. 楽しそう・興味を持てる内容の活動であること
10. 地域活動に参加するときに、送迎や移動を支援する手段があること
11. 手話通訳やコミュニケーションボードによる意思の伝達など、意思疎通支援が地域活動に参加したときに受けられること
12. その他（)
13. 特になし

10. 芦屋市の取り組みについて

問 47 芦屋市は、暮らしやすいまちですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. わからない |

問 48

芦屋市が行っている各種障がい児施策に期待すること、重要だと思うことは何ですか。(もっともあてはまるもの5つまでに○)

1. 障がいに対する地域の理解を進めるための広報啓発活動を充実する
2. 何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくする
3. サービス利用の手続を簡単にする
4. 市役所等公的機関からの福祉に関する情報をもっと多く、もっとわかりやすくする
5. 保健と福祉の専門的な人材を増やす支援をする
6. 参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす
7. いろいろなボランティア活動を増やす
8. 在宅での生活や介助がしやすいサービスを増やす
9. 障がいのある人が身近な地域で医療・リハビリが受けられる医療機関を充実させる
10. 障がいを早期に発見し次につなげる健診・相談・指導体制を充実する
11. 障がいのある人の地域生活を支えるため、財産管理などを支援する権利擁護を推進する
12. 障がいがあってもなくても、ともに学べるような保育・教育内容をさらに推進する
13. 保育所・幼稚園・認定こども園などと小・中・高等学校などがつながり、本人の将来を考えた教育を支援する体制の充実
14. 子どもの成長に合わせて、その子の特徴や支援経過を学校や施設等に引き継いでいく仕組みの充実
15. 障がいのある人の地域生活を住民同士が助け合い支援していく活動を増やす
16. 生活訓練のできる、通える施設を増やす
17. 仕事に就くための訓練や働く場を増やす
18. 障がいがあってもなくても、住民同士がふれあえる機会や場を増やす
19. 利用しやすいよう道路・建物などをバリアフリー化する
20. グループホームなどの住む場所を増やす
21. 災害時の避難体制を整える
22. 防犯対策を充実する
23. 差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす
24. その他 ()

11. お子さんの介護者について

問 49

お子さんを今、主に介護・介助している人はどなたですか。介護者がいない場合は回答不要です。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 特に介護・介助の必要はない | 2. ホームヘルパーなど家族以外の人 |
| 3. 母親 | 4. 父親 |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. 祖父母 |
| 7. その他 () | |

①

問 49 で 3、4 のどちらかを選んだ方にお聞きします。「親が病気や死亡等によって将来お子さんを支えられなくなったとき」に、どこで生活できたらいいと考えていますか。(○は1つだけ)

1. 家族（兄弟姉妹など）と一緒に自宅で生活できたらいい
2. 家族（兄弟姉妹など）からは離れて一人で生活できたらいい
3. 専門の職員がいて共同生活ができる施設を利用できたらいい
4. 入所施設で生活できたらいい
5. その他 ()
6. わからない

問 50

問 49 で 3～6（ご家族の介護者）を選んだ方にお聞きします。主な介護者の年齢は何歳ですか。(数字を記入)

満(まん)

歳(さい) ※令和7年●月●日現在

問 51

主な介護者の健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

1. よい
2. ふつう
3. よくない

